

2014年11月28日  
東ソー株式会社

## 新型グリコヘモグロビン分析計「HLC-723<sup>®</sup>G11」を販売開始

東ソーは、高速液体クロマトグラフィー法（HPLC法）を原理とし、より迅速・高精度なHbA1c測定を可能とした東ソー自動グリコヘモグロビン分析計「HLC-723<sup>®</sup>G11」を2014年11月から販売開始しました。糖尿病の診断および血糖コントロール（高血糖を改善して、血糖値を正常値に近づけること）の指標として重要性がますます高まるHbA1c測定用装置として、病院、検査センターなどの糖尿病検査市場で広く活用されるものと期待しています。

糖尿病患者数増加の中で、医療機関が求める診療前検査ニーズに対応すべく、迅速報告が求められています。当社は1検体45秒の高速測定を可能とした「HLC-723<sup>®</sup>G9」を2010年に販売開始し、国内市場で高い評価を獲得しました。「HLC-723<sup>®</sup>G11」は、高い分析精度を維持しながら、1検体30秒の高速測定を可能とし、さらにデータ信頼性と操作性の向上を目指しました。

「HLC-723<sup>®</sup>G11」は国内販売に加え、欧米や中国を中心としたアジアなどの海外市場での販売も予定しており、国内外合わせて上市後5年間で3,000台以上の販売を見込んでいます。当社では当分析計シリーズをワールドワイドに展開しており、検査市場のニーズに対応した新機種を上市することで、さらなるシェア拡大に取り組んでいきます。

### <「HLC-723<sup>®</sup>G11」の概要>

- 販売名 東ソー自動グリコヘモグロビン分析計 HLC-723G11  
(製造販売届出番号 13B3X90002000019)
- 測定原理 高速液体クロマトグラフィー法
- 処理能力 120検体/時間
- 測定時間 30秒/検体（ファーストレポート60秒【検体認識から結果印刷開始まで】）
- 特長 簡便操作、迅速・高精度な測定が可能、データ信頼性の向上

